

# 1 XBT-DBT データ

1. データファイルは ASCII コードによるテキストファイルで、行末は [復帰][改行](16 進アスキーコードの 0D 及び 0A) である。
2. フィールドの区切りを',' [カンマ](16 進アスキーコードの 2C) としている。
3. 該当するデータの無いフィールドは原則として-9 の値で埋めている。
4. フィールド内は右詰めで記述されている。
5. 時刻の表記は全て日本標準時 (Japan Standard Time) である。
6. 書式は、原則として書式例に示される固定長である。また、特に '可変長' と明記されたレコードについては、フィールド数又はフィールド内文字数が、ファイル又はレコードによって変わることを示す。'可変長' と明記された場合は、各レコード内での該当フィールド以降の開始位置も変わる。

## 1.1 ファイル名・フォーマット

1. ファイル名 yyxxnnn.BT (例: 96TF012.BT 等)

ここで、 yy: 西暦年の下 2 桁  
xx: 表層水温観測コード (表 1 参照 )  
nnn: 測点番号 (3 桁の数字)

### 2. レコード定義

#### (a) ヘッダー部

- 第 1 レコード (可変長): 船名, 航海年次, 書式番号 (V2.1)

```
Ship, R/V Ryofu Maru, Cruise number, 97-01, Format, V2.1
```

- 第 2 レコード: 測点番号

```
Station, TF-001
```

- 第 3 レコード: データレコード数

```
No.of Records, 532
```

- 第 4 レコード: 観測開始/着水時の日付, 時刻。

```
Date, 1997/01/29, Time (JST), 1943
```

- 第 5 レコード: 観測開始/着水時の位置

```
Lat., 13-59.69 N, Lon., 136-58.80 E
```

- 第 6 レコード: 観測開始/着水時の水深及び測深フラグ (表 2)

```
Depth, 5121 Meters, Depth Flg, 1
```

- 第 7 レコード: 最寄りの海潮流測点番号, 補助測点番号

```
ACMstn., AF-022, Substn.,
```

- 第 8 レコード: 海面水温/塩分

SurfT , 20.0 DEG-C , SurfS , 34.853

- 第 9 レコード: BT のタイプ (X-BT/D-BT)

Type , X-BT

- X-BT の場合のみ

- 第 10 レコード: プローブ型式, プローブのシリアル番号

Probe , TSK T-6 , S/N , 188309

- 第 11 レコード: 深度  $z$ (m) をプローブ投入時からの経過時間  $t$ (s) で求める際に用いた深度式 ( $z = at + bt^2$ ) の係数

Coef. , a=6.691, b=-0.00225, (BathyCode: 212)

- 第 10~11(X-BT の場合 12~13) レコード: データ部書式

DEPTH, TEMP, F

METERS, DEG-C,

(b) データ部

1m 毎にデータを 1 レコードに記述する。各データのフラグは表 3 による。フィールドの定義は次の通り。

- DEPTH: BT の深度
- TEMP: BT の水温
- F: 水温のフラグ

0, 20.00, 2

表 1: 観測船コード

観測船名	コールサイン	各層観測	表層海流観測	表層水温観測
Kofu Maru	JDWX	KH/KO	AH/AO	TH/TO
Ryofu Maru	JGQH	RF	AF	TF
Keifu Maru I	JBOA	KE	AE	TE
Keifu Maru II	JPBN	KS	AS	TS
Shumpu Maru	JFDG	SH	AH	TH
Chofu Maru	JCCX	NC	AC	TC
Seifu Maru	JIVB	SM	AM	TM

表 2: 測深フラグ一覧

フラッグ番号	定義
1	音響測深機による測深 (補正無し)
2	音響測深機による測深 (補正あり)†
5	CTD とアルチメーターによる水深
6	X-BT 又は X-CTD 着底による水深
9	測定無し

†補正方法は-.SUM ファイルに記述する。

該当するものが複数ある場合は、数字の大きなものとする。

表 3: CTD/XCT/BT/ACM データフラグ一覧

フラッグ番号	定義
2	問題無し
3	疑問あり
4	測定不良
6	$2 \times 10^4 \text{Pa}$ 以上離れた層のデータによる内挿
7	スパイク除去 (CTD のみ)
9	データ無し